

産学連携への挑戦 2016

ご挨拶

研究支援・産官学連携センター長（産官学連携担当 副理事）

織田 聡

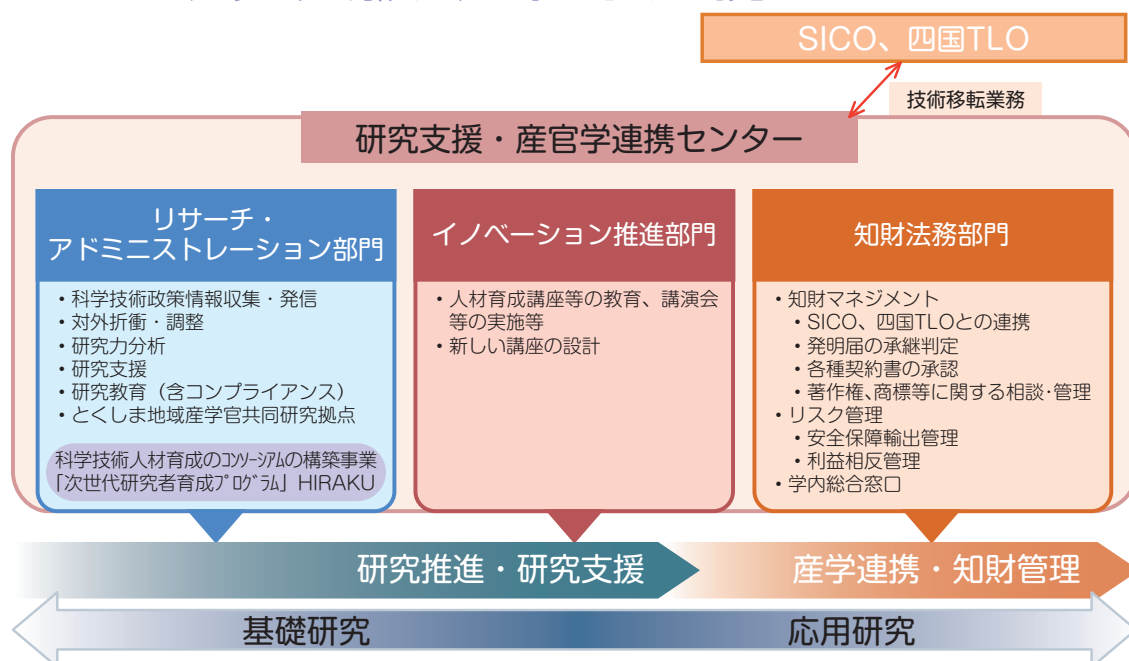


徳島大学 研究支援・産官学連携センターは、徳島大学の研究力の向上とその研究成果の地域社会への還元に貢献することを大きな目的としている組織です。そして、この目標を達成することにより、結果として知的財産を生かした収入や外部資金の獲得の増加が期待できるため、大学運営上も重要な役割を担っています。

特に、大学の研究者の研究成果を特許化し、それを企業へ技術移転する活動は重要であることから、過去数年間大きな組織改革を行ってきました。従来、この分野の活動については、平成13年より四国TLO（四国の大学の技術移転機関の略称）が活動を行ってきましたが、四国地域の大学の技術移転活動を強化するため、平成25年には「四国産学官連携イノベーション共同推進機構（Shikoku Innovative and Collaborative Organization for Industry, Academia and Government、以下、SICOと呼ぶ）」が発足しました。SICOは、四国の国立5大学（徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）が保有する産官学連携に関する資源を効果的・効率的に活用する観点から、大学の枠を超えて産官学連携によるイノベーション創出を推進する仕組みを構築しようとするものです。

そして、研究支援・産官学連携センターは徳島大学における産官学連携活動の司令塔として役割を有しており、SICOおよび四国TLOと連携して、学外に目を向けた本学の知財の管理運用、共同研究や受託研究の推進、外部資金獲得支援を効率よく行うための体制を構築してきました。

研究支援・産官学連携センター



こうした改革の結果として、文部科学省「平成 26 年度大学等における産学連携等実施状況について」によると、徳島大学は調査回答のあった全国の国公立大学、国公立高等専門学校、大学共同利用機関（1,036 機関）の中で、

- ・ 特許権実施等収入が大きく増加した機関：第 5 位
- ・ 特許権実施等収入：第 11 位（前年は第 30 位以下）
- ・ 特許権保有件数のうち実施許諾中の特許件数の割合：第 2 位となり、産官学連携活動に関して全国の大学の中でも上位に位置する成果を挙げております。

今後は、この成果を維持するだけでなく、更なる拡大を図り、本学の研究の活性化と地域社会への還元を目指していく所存です。これを達成するために、本センターの構成員は一丸となって努力する覚悟であり、限られた人材・資金ながらも智慧を出し合って徳島大学型の研究支援および産官学連携組織を構築していきたいと思ひます。皆様におかれましては、益々のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご意見やご要望等がありましたら何なりとお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

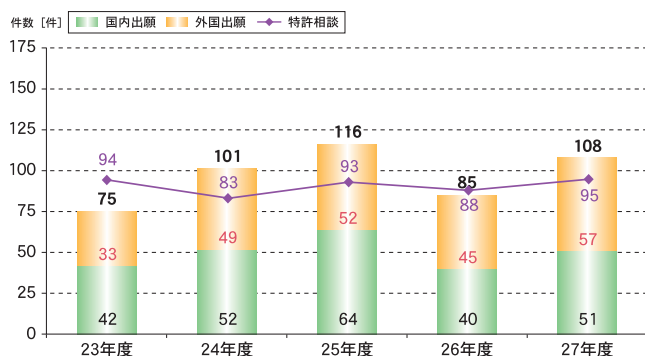


研究支援・産官学連携センターの運営体制

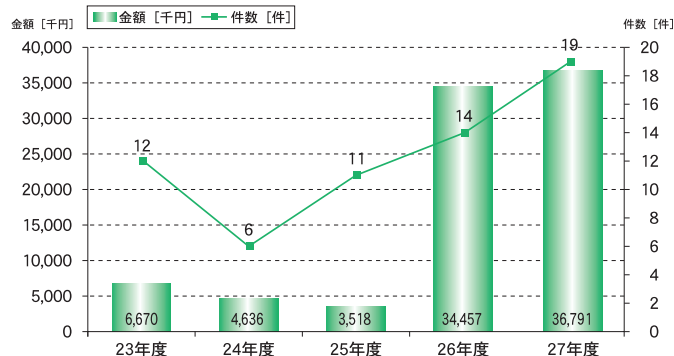
研究支援・産官学連携センターは、研究支援活動と産学連携活動の連携を図り、徳島大学の研究分野および産学連携分野を強化していくことを目的として、平成 27 年 4 月に設置されました。これまで、研究支援についてはプロジェクトマネジメント推進室が、産学連携活動については産学官連携推進部が行っていましたが、この 2 つの組織を統合し、徳島大学研究戦略室と一体的に取り組むことにより、相乗効果を発揮し、機動力のある組織として活動を行ってまいります。

最近の徳島大学の実績は以下のとおりです。特許権実施等収入は、平成 26 年度は平成 25 年度に比べ、約 10 倍に増加しました。平成 27 年度はさらに増加しています。

特許相談・特許出願件数 年度推移



技術移転件数 年度推移



総合窓口 お問い合わせ先

電話：088(656)7592 FAX：088(656)7593
E-mail：rac-info@tokushima-u.ac.jp

知財法務部門

知財法務部門は、徳島大学で生じた知的財産権の取り扱いに関わる窓口として、各種相談、知財管理、契約締結等の活動を行っています。また、四国産学官連携イノベーション共同推進機構及び株式会社テクノネットワーク四国（四国 TLO）と連携し、共同研究及び受託研究の推進や、大学内で生まれた研究成果を企業へ移転する活動の支援を行っています。

また、国際社会における大学の責任として安全保障輸出管理規則を制定し、安全な環境下で活発に教育・研究活動ができるよう安全保障管理を行っています。その活動の一環として、教職員の方々に大学における安全保障輸出管理の必要性及び徳島大学の輸出管理の取組を理解していただくため、年に数回、安全保障輸出管理説明会を開催しています。さらに、平成 25 年 9 月に発足した「四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク」では、四国の国立 5 大学（徳島大学・鳴門教育大学・香川大学・愛媛大学・高知大学）が連携し、各大学の安全保障輸出管理業務における問題点を共有するとともに、事例検討やセミナー受講、大学訪問を行い、大学における安全保障輸出管理体制の構築を目的として活動しています。

加えて、本部内では、利益相反管理、教員及び学生の研究成果守秘義務契約の管理等を行っています。



▲ 2015 年 12 月 4 日開催 安全保障輸出管理説明会

■ 安全保障輸出管理に関するお問い合わせ先

電話：088(656)9773 FAX：088(656)7593

E-mail：iag-safety@tokushima-u.ac.jp

■ 知財に関するお問い合わせ先

電話：088(656)7592 FAX：088(656)7593

E-mail：rac-info@tokushima-u.ac.jp

イノベーション推進部門

ものづくり分野における技術者・管理者等の人材育成について大学教員・企業技術者やその OB、徳島県の行政担当者、広域連携による他大学の専門講師の協力を得て社会や顧客ニーズに素早く対応でき、かつコスト削減や課題解決能力を養い企業のエースとなるべき人材の育成を目指し、講座を公開しています。本年度で 12 年目となり、県内の多くの企業に社員教育の一環として利用されています。

徳島大学が平成 26 年に宣言した「地域と共に未来へ歩む徳島大学宣言」に基づき、昨年度より講座名も「産業人材育成講座」から「地域産業人材育成講座」に改称しました。本年度の講座の特徴は、従来のものづくり基幹産業関連の講座、食品製造関連の講座およびマーケティング講座をブラッシュアップしたものに加え、昨年度より新しくロボット講座を設けました。この講座では徳島県の科学技術振興策として計画されたロボット開発の

技術者養成の一助としてロボットに関する基礎知識を解説し、簡単なロボット制御実験を体験できる講座となっております。

また本講座で行うインターンシップにおいては、県外企業も訪問し、より実りある講座になるよう計画しております。

プログラムⅠ	3DCAD 講座	7 / 6 ~ 9 / 1	全 8 コマ
プログラムⅡ	ロボット講座	9 / 7 ~ 11 / 2	全 8 コマ
プログラムⅢ	食品加工講座	9 / 8 ~ 11 / 4	全 8 コマ
プログラムⅣ	マーケティング講座	11 / 9 ~ 12 / 21	全 7 コマ
プログラムⅤ	生産管理講座	1 / 6 ~ 2 / 1	全 6 コマ
プログラムⅥ	インターンシップ（講演付き見学会）	2 / 8 ~ 2 / 22	全 3 コマ



▲ 2015 年 11 月 5 日開催
地域産業人材育成講座 ロボット講座 講義風景



▲ 2016 年 3 月 9 日開催
地域産業人材育成講座 修了式

■ 講座に関するお問い合わせ先

電話：088(656)9884 FAX：088(656)9313
E-mail：iag-jinzai@tokushima-u.ac.jp

リサーチ・アドミニストレーション部門

リサーチ・アドミニストレーション部門は、基礎研究から応用研究まで一貫通貫した支援を行います。特に、地域社会のニーズを踏まえた異分野融合を強力に推進し、学術研究の持続的発展を可能にする研究支援体制の構築を目的とします。本部門では、現在、URA（University Research Administrator）2 名を配置しています。本学の研究力をさらに向上させるために、外部資金の獲得支援、研究環境の改善、本学の特性に適した実効性が上がる組織体制づくりを支援いたします。

主な業務内容

1. 国内の科学技術政策調査・分析：国の科学技術政策の把握と競争的資金の公募情報の収集・分析
2. 学内研究力調査・分析：抄録・引用文献データベースを用いた学内研究者の研究力分析
3. 研究力強化戦略案策定：社会ニーズに対応した全学的な研究戦略案の策定支援と研究戦略室会議への提案
4. 研究支援：科研費計画調書作成支援、研究推進セミナー企画・開催、共同研究推進支援
5. 共用機器（とくしま地域産官学共同研究拠点）管理・運営
6. 研究支援組織体制の強化：URA 個人や組織として高度なスキル向上、RA 協議会組織会員としての協議会活動
7. 研究教育（含コンプライアンス）



▲ 2016年3月16日開催
第6回研究推進セミナー（英語論文執筆）



▲ 2016年6月9日開催
創薬オープンイノベーション合同説明会・相談会

■ リサーチ・アドミニストレーション部門お問い合わせ先

電話：088(656)9827 FAX：088(656)8015

E-mail：ura-office@tokushima-u.ac.jp

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」(HIRAKU 事業)の事業紹介

平成26年10月に広島大学、山口大学及び本学が共同で実施する「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」(HIRAKU 事業)が文部科学省の補助金事業として採択されました。当事業では、理工系、人社系を問わず、若手研究人材が地域や国際社会を変革する人材として自立できるように、主に次のプログラムを実施しています。

1 若手研究者の自立・流動促進プログラム

自立的に研究を実施し、多様な研究キャリアを切り拓くことのできる教員を、平成33年度までに毎年1名、「テニュアトラック特任助教」として採用していきます。

平成27年度：生物資源産業学部（仮称）設置準備室 谷原 史倫

平成28年度：医歯薬学研究部（薬学）Karanjit Sangita

平成29年度：選考中

2 イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム

企業や社会の課題解決に貢献しつつ、実践的な能力の養成とアカデミア以外のキャリアオプションの拡大を図ることを目的として、長期インターンシップ派遣制度（2ヶ月以上の派遣）を設けています。

平成27年度：三菱レイヨン株式会社1名、株式会社インフォマティクス1名

平成28年度：2名予定

また、広島大学、山口大学と共同で人材育成を目的としたセミナー、イベント等を開催しています。

○3分間コンペティション

大学院博士課程後期の学生を対象に3分間の限られた時間内に自身の研究ビジョンや魅力を一般の方にもわかるように伝えることで、学生のコミュニケーション能力の向上を目的に開催しています。

○若手研究者シーズ発表会

若手研究者（博士課程学生、ポスドクターを含む）が企業や研究所に向けて自身の研究（シーズ）を発表し、意見交換を行うことで若手研究者が社会のニーズを感じて社会とつながることを目的に開催しています。

○人材セミナー

主に企業の研究開発部署で活躍している方々や人事担当者から、最新の研究開発動向や人材活用の状況を学ぶことを目的に開催しています。平成 27 年度は各大学で計 14 回開催しました。

■「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」徳島大学事務局（リサーチ・アドミニストレーション部門）お問い合わせ先

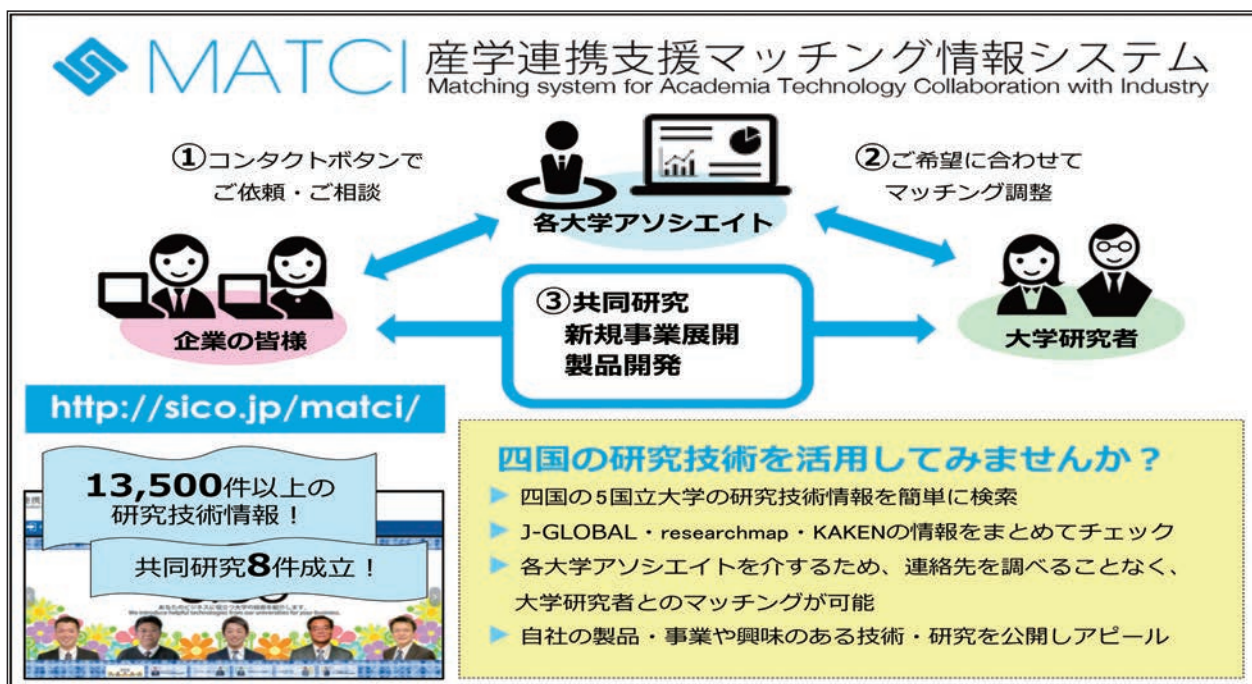
電話：088(656)9759 FAX：088(656)8015

E-mail：hiraku@tokushima-u.ac.jp

本センターの活動と関連の深い「四国産学官連携イノベーション共同推進機構（SICO）」の紹介

四国産学官連携イノベーション共同推進機構（略称「SICO（シコ）」）は、四国の国立 5 大学（徳島大学・鳴門教育大学・香川大学・愛媛大学・高知大学）が連携し、5 大学の研究成果をより多く社会へ還元し、四国地域全体の活性化を図ることを目的として、産学官連携活動を行っております。

本事業の 1 つとして、ICT を利用した産学連携支援マッチング情報システム「MATCI（マッチ）」を運用しております。現在、5 大学の研究技術情報（研究・特許・文献・機器・シーズ・実用化例）を収録しており、企業の方が求める研究技術情報の検索を容易にすることで、技術マッチングを図り、共同研究や新規事業の展開・商品開発等に結びつけることができる登録料・利用料無料のデータベースです。平成 28 年 7 月現在、13,500 件以上の研究技術情報を収録しており、共同研究は 8 件成立しております。ぜひご利用ください。



四国産学官連携イノベーション共同推進機構（SICO）お問い合わせ先

TEL：088（656）9702 FAX：088（656）7274

E-mail：sico-office@tokushima-u.ac.jp HP：http://sico.jp/

FB：https://www.facebook.com/ShikokuInnovation/

編集・発行
お問い合わせ
連絡先

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

徳島大学 研究支援・産官学連携センター センター長 織田 聡

電話：088(656)7592(総合窓口) FAX：088(656)7593

E-mail：rac-info@tokushima-u.ac.jp URL：http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/